

スマホ教室運営マニュアル



本マニュアルの位置づけ

このマニュアルは、スマホ教室の主催者に向けて作成されております。

スマホ教室開催にあたり必要となる事前調整や作業等を知り、スムーズにスマホ教室を開催していただくことを目的として作成しています。高齢者の情報格差（スマホ等の情報機器に関する知識や機会の格差）を解消する一助としてご活用ください。



目次

1. 開催の流れ	P 3
2. 事前準備	P 5
3. 広報活動	P 12
4. スマホ教室スケジュール・カリキュラム	P 15
5. 開催時と開催後のフォロー	P 20
6. 感染症対策	P 24
7. Q&A	P 26

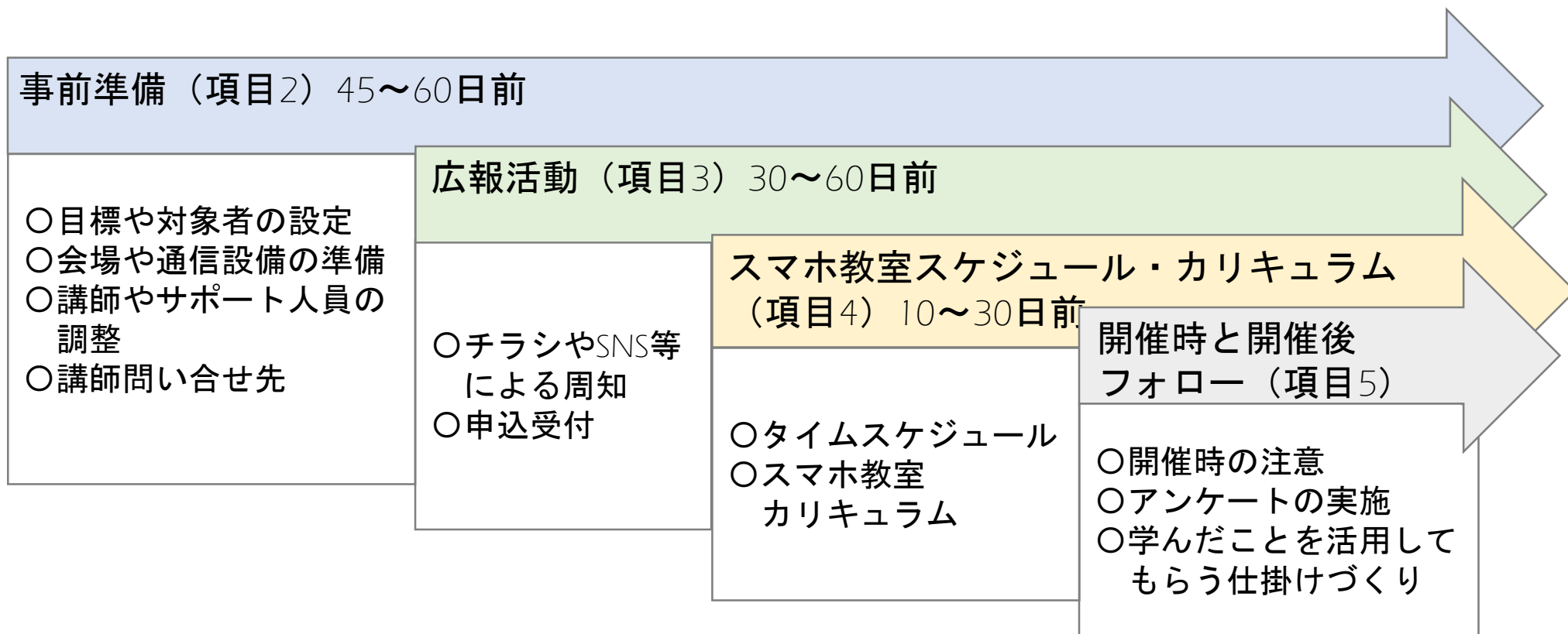
※令和3年度東京都事業「デジタルデバイド是正事業」の中で作成されたマニュアルです。

1

開催の流れ

1 開催の流れ

スマホ教室の開催までには60日程度の準備を要します。
下記にある図の流れを確認し、参加者にあわせたスケジュールを立ててください。
また、項目2以降の具体的な作業も参考にご覧ください。



2

事前準備

2-1 目標や対象者の設定

まずは、どのような方にスマホ教室に参加してもらいたいのかを明確に設定します。その方が、このスマホ教室で何を学び、スマホ教室の参加後にどのようなになってもらいたいのか、**何ができるようになってもらいたいのか**を決めます。このようにすることで、当初の目的から外れることなくスマホ教室の開催が可能となります。

■目標の設定（例）

- ・ スマホを所有する抵抗感を払拭するために、スマホの楽しさを体感してもらう
- ・ 自分から電話をかけられるようになってもらう
- ・ LINEを使って、コミュニティのLINEグループにてチャットに参加する

2-1 目標や対象者の設定

参加者に事前アンケートを行い、スマホ教室の内容と参加対象を決めます。

①参加者のレベル設定を行います。(初級編、中級編、上級編)

②実施時間の設定を行います。

実施時間は最大60分を目途に、30分を超える場合は5～10分程度の休憩を取得し、参加者が疲れないように配慮しましょう。

参加者のレベルを把握することで、参加者に適した内容のカリキュラムを検討することができます。参加者のレベルに合わせて、初級編・中級編・上級編等を設定してみましょう。

カリキュラムは「別紙1 スマホ教室事前アンケート」を活用して組み立てます。

※カリキュラムの例は、P17・18・19を参照

事前アンケートが行えない場合でも「別紙1 スマホ教室事前アンケート」内の内容（出来る様になりたいこと）の欄を参考にして、目標を設定してみましょう。

2-2 会場や通信設備の準備

①会場の手配

予想される参加人数に合わせた広さの会場を確保します。
会場を予約する場合は、予約期限や空き状況を確認し、
早めに会場を確保しましょう。

②通信設備や機材の準備

スマホ教室開催にあたり通信設備や機材が必要となる場合があります。
あらかじめ必要なものを準備しましょう。
(通信設備や機材については次ページに記載)

2-2 会場や通信設備の準備

③必ず必要となる通信設備や機材等

- ・机や椅子
 - ・電波が入る通信環境（地下等で電波が入りにくいこともあります）
 - ・テキスト（印刷したもの）
- ※基本操作編で商標に関する注意書きがありますので、必ず配布しましょう。

④用意できると便利な機材

- ・マイクやスピーカー
- ・ホワイトボード
- ・モニターやプロジェクター、パソコン
- ・貸し出しスマホ（貸し出す場合は、端末の管理をしっかりとしましょう）
- ・シニア向けスマホの取扱説明書

※事前にシニア向けスマホを持ち込まれることが分かっている場合は、インターネットから取扱説明書をダウンロードし、準備しておきましょう。

2-3 講師やサポート人員の調整

①講師の調整

主催者自身が講師を行う場合や、同じ組織の方、外部のお知り合い、外部の事業者^①に講師を依頼をする場合があります。

謝礼が必要となることもありますので、実施したい内容や講師の人柄、予算等を考えて講師を調整してください。

スマホ教室の内容に関する事前の打ち合わせもあるため、開催日の1か月以上前に講師の調整を行っておくことが望ましいです。

②サポート人員の調整

スマホ教室の開催当日は、会場設営や受付、感染症対策、カリキュラムについていけていない参加者の支援等、様々な作業が必要になり、サポート人員が必要となります。何人いればスマホ教室が運営できるのかを考え、サポート人員を調整しましょう。

（目安：参加者3～5名に対し、サポート人員1名程度）

2-4 講師問い合わせ先（例）

出張型のスマホ教室は、下記にてお問合せいただくことが可能です。
実施内容について、まずはお問い合わせください。

企業名	名称	問合せ先
KDDI株式会社	KDDIスマホ・ケータイ安全教室 (シニア向け講座) 事務局	TEL: 080-5906-9645 FAX: フリーコール0120-926-772 IP電話からは03-6678-0808 eメール: senior-keitai@kddi.com
株式会社NTTドコモ	ドコモスマホ教室	お近くの店舗へご相談ください
ソフトバンク株式会社	スマホ教室	お近くの店舗へご相談ください

※その他民間企業も数社ございます。

3

広報活動

3-1 チラシやSNS等による周知

参加者を募集するためには広報活動が必須です。

周知をするにあたり、募集対象、参加要件、開催場所、日時、参加料金、スマホ教室で実施する内容、定員、持ち物、問合せ先等を明記します。対象となる人によって、口頭での誘いや、チラシ設置、SNS、ホームページ等、効果的な媒体や募集の仕方があります。対象者をイメージして適切な方法で周知を行いましょう。

チラシ



スマートフォン教室
二スマートフォンを安全に活用する方法についての講座を開催します。

購入前、初心者でも大丈夫！
お気軽にご参加ください

対象：パソコン利用者様

第一部 スマートフォン購入前、または購入直後で、
基本的な操作方法を学びたい方

第二部 スマートフォンをさらに活用するアプリ(LINE/zoom等)、
安全に活用する方法を学びたい方

開催日：令和4年10月13日(水)

場 所：〇〇〇〇〇〇 (住所：東京都中央区〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)

時 間：第一部：13時30分～14時25分
第二部：14時35分～15時30分

※参加費は別途お申し込みください。お申し込みの際は必ずお申し込みの旨をお知らせください。
※お申し込みは先着順です。定員に達した場合はお申し込みを中止させていただきます。

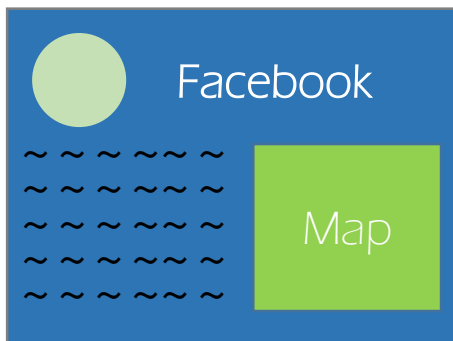
参加費 無料

定 員 〇名

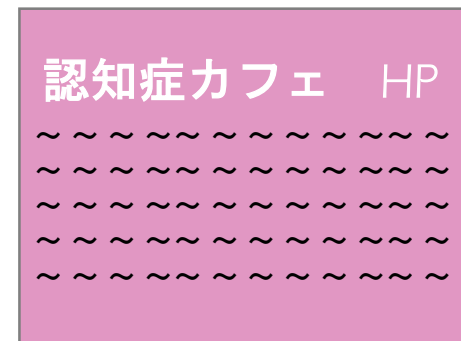
持ち物 お持ちのスマートフォン
※お持ちでない方は、お申し込み時にお知らせください。(持ち物なし)

お申し込み/問い合わせ先：〇〇包括支援センター (電話番号) 〇〇〇〇〇〇〇〇〇

Facebook (SNS)



ホームページ



3-2 申込受付

予定人数を超えないように、申込受付の調整をおこないましょう。

事前準備で定めた、目標と対象者と会場の広さやレイアウトに合わせて予定人数（最大参加可能人数）を決めておきましょう。

予定人数を超過してしまうと、適切なサポートが出来ずに、目標達成が難しくなってしまふことがあります。

また、事前に予定人数を告知しておくことで、公平性を保つことができます。



4

スマホ教室スケジュール・カリキュラム

4-1 タイムスケジュール

具体的なタイムスケジュールを決めましょう。

休憩時間や質疑応答の時間を確保しておくことも重要です。

特にスマホを使い慣れていない方は、目や指等が疲れやすい傾向にあります。

細かく休憩時間を設定しましょう。

10分の休憩を、5分の休憩2回に分けることも有効です。

参加者に合わせて、設定しましょう。

会場の手配は、準備や片付けに加えて予備の時間も確保できるように長めに設定しましょう。

※スマホ教室当日のタイムスケジュール（例）

時間	実施事項	時間
12時30分	会場セッティング	20分
12時50分	会場セッティングの完了・受付開始	10分
13時00分	スマホ教室の開催（休憩10分含む）	60分
14時00分	質疑応答	15分
14時15分	スマホ教室の終了・片付け開始	30分
14時45分	撤収	30分

4-2 スマホ教室カリキュラム例

カリキュラム参考（例） 初級編 60分

タイトル：スマホを体験してみよう

対象：スマホを持ったことがない方

ゴール：スマホに興味を持ち何ができるかを学ぶ

テキスト名	目的	カリキュラム内容	時間 (分)
スマホの魅力	スマホで出来ることを学ぶ	電話以外のカメラやLINE等の紹介	5
基本操作編	スマホの基本的な操作を学ぶ	電源ボタンで出来ること ボタン操作の仕方を覚えよう タッチ動作の基本動作を覚えよう 文字入力の方法を学ぼう	10
休憩			10
電話編	電話機能を学ぶ	電話をかけてみる 電話を受けてみる	10
カメラ編	カメラ機能を学ぶ	操作アイコンを確認 写真を撮る 自画像を撮る ゲーム：自撮り撮影コンテスト	10
振り返り	学んだことを振り返る		15

4-2 スマホ教室カリキュラム例

カリキュラム参考（例） 中級編 60分

タイトル：便利な機能を使ってみよう

対象：スマホを持っているが、使いこなせていない方

ゴール：一人で調べものができるようになる、
LINEを使って連絡ができるようになる

テキスト名	目的	カリキュラム内容	時間 (分)
インターネット編	インターネットでできることを学ぶ	検索機能を利用して調べものをする	10
LINE編	LINEの「友だち登録」を学ぶ	「2次元コード」を使った 友だち追加機能を体験する	15
休憩			10
Zoom編	Zoom機能を学ぶ	ミーティングIDとパスワードを入力し Zoomに参加してみる 参加者同士でおしゃべりしてみる	15
振り返り	学んだことを振り返る	各機能のおさらい	10

4-2 スマホ教室カリキュラム例

カリキュラム参考（例） 上級編 60分

タイトル：様々なアプリを使ってみよう

対象：スマホでスムーズにコミュニケーションが取れ、
スマホをもっと使いこなしたい方

ゴール：興味のあるアプリの検索方法を知り、活用できるようになる

テキスト名	目的	カリキュラム内容	時間 (分)
アカウント取得 アプリインストール編	興味のあるアプリのインストール 方法を学ぶ	アカウントを作成し、興味のある アプリを検索してみる	15
アプリ活用編	認知症を患っている方やその家族が 便利に使えるアプリを学ぶ	生活の中で活用できるアプリを知り、 実際に検索してみる	10
休憩			10
セキュリティ編	スマホのセキュリティ対策を学ぶ	セキュリティ対策例や、迷惑メールの 見分け方を知る	20
振り返り	学んだことを振り返る	各機能のおさらい	5

5

開催時と開催後のフォロー

5-1 開催時の注意

スマホ教室の開催時、以下の内容に注意しましょう。

- ・ 普段の生活での活用をイメージしてもらうように工夫する
- ・ スマホ教室中、ついていけない人がいないかを確認してフォローをする
- ・ 楽しい気持ちで参加してもらえそうな雰囲気をつくる
- ・ セキュリティリスクをしっかりと説明する

5-2 アンケートの実施

スマホ教室に参加しての感想を聞くことで、次回のスマホ教室に向けて必要なことや過不足な点を把握し、改善等に役立てることができます。

アンケートは、用紙で回答をしてもらうことにこだわる必要はありません。用紙に書いてもらうのが難しい場合は口頭で聞く等、参加者に聞き取りやすい方法で実施しましょう。

（「別紙2 スマホ教室参加者アンケート」を参照）

5-3 学んだことを活用してもらおう仕掛けづくり

スマホ教室で学んだことは、実際に試してみなければ身につけません。振り返りになる取組を行うことでスマホの利用が定着し、「2-1 目標や対象者の設定」で定めた目標の実現につながりやすくなります。

取組事例

- ・ 次回までにお題の写真をスマホで撮影し、みんなで見せ合う
- ・ 運営者から送付したメールに返信してみる
- ・ オンラインで開催するイベントに参加してみる
- ・ LINEのグループチャットにコメントしてみる
- ・ 地図アプリを使って目的地まで歩いてみる

6

感染症対策

6 感染症対策

まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発令された場合はそれに準じて下さい。
下記の対策例も参考に、自治体における新型コロナウイルス感染症対策に係る
取組に従いましょう。

【感染症対策（例）】

- パーテーション：対面までの間隔が1m未満の場合パーテーションが必要
- 距離：人との距離は1m以上、可能であれば2m以上あける
- 人数制限：会場定員の50%まで
↳参加者・スタッフ・講師、すべて含める
- 休憩：20～30分に1度(10～15分)の休憩を取得
- 消毒：貸出端末(機器)の定期的な消毒
↳特に触れる方が変更になる都度の消毒を徹底
- 基本対策：マスク着用・検温・手指や備品の消毒
換気・パーテーション設置等、基本感染対策の徹底



7

Q&A

Q：参加人数が多い場合等、テキストの設定時間より長く時間を確保して良いか。

A：テキストの設定時間は参考です。
参加者の人数やレベルに応じて設定しましょう。

Q：開催頻度を知りたい。

A：週に1度実施した場合、前週の内容を覚えている方がおり、効果的でした。
同じ内容を何度か繰り返し開催することで少しずつ覚えてもらいましょう。

Q：同じ内容を何度も繰り返しして良いか。

A：参加者の習熟度に応じて、繰り返し開催しましょう。

Q：貸し出しスマホはどのように準備すれば良いか。

A：スマホのレンタル事業者を探してみましょう。
貸し出しスマホがなくても、参加者自身のスマホで操作をしたり、
テキストを見て学ぶ方法もあります。

Q：運営者がわからない質問をされそうで不安。

A：わからない質問はその場で回答しなくても大丈夫です。他の運営者に相談したり、調べたりすることで、運営者自身の知識習得にもつながります。



東京都 デジタルサービス局

【他社所有商標に関する表示】

本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。
なお、記載されているシステム名、製品名等には必ずしも商標表示（®、TM）を付記していません。

- LINEおよびLINEロゴは、LINE株式会社の商標です。
- Android、Gmailは、Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Zoomの名称、ロゴは、Zoom Video Communications, Inc.の米国および日本を含むその他の国における商標または登録商標です。
- iPhoneは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- フリーコールの名称は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- 「docomo」の名称、およびロゴは、株式会社NTTドコモの登録商標または商標です。
- 「SoftBank」の名称、およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- Facebookは、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。

スマホ教室 事前アンケート

参加者： _____

参考となるレベル	項番	テキスト名	内容（出来る様になりたいこと）	所要時間	重点的に知りたいに○をつける
導入編	1	スマホの魅力	1. ガラケーとスマホの違い 2. スマホで変わること 3. スマホの種類を学ぶ 4. スマホを安心して使うために 5. 購入時のポイント	5分	
導入編 初級編	2	基本操作編	1. 電源ボタンで出来ること 2. ボタン操作の仕方を覚えよう 3. タッチ動作の基本動作を覚えよう 4. 文字入力の方法を学ぼう	15分	
初級編	3	電話編	1. 電話のかけ方・受け方 2. 電話帳への登録	10分	
初級編	4	メール編	1. メールを使ってできること 2. Gmailを使えるように設定してみよう 3. Gmailを使ってメールの送受信をしてみよう 4. メールの種類と用途を学ぼう 5. ショートメッセージサービス(SMS)を使ってみよう	15分	
初級編	5	カメラ編	1. カメラの使い方 2. 2次元コードを読み取ろう	10分	
中級編	6	インターネット編	1. インターネットで出来ること 2. インターネットを使って広報をしてみよう 3. Wi-Fiを使ってみよう	15分	
初級編 中級編	7	LINE編	1. LINEで出来ること 2. LINEを使えるように設定してみよう 3. 友だちを登録してみよう 4. メッセージを使ってやり取りをしてみよう 5. 通話をしてみよう	20分	
初級編 中級編	8	Zoom編	1. Zoomで出来ること 2. Zoomを使えるように設定してみよう 3. Zoomミーティングの使い方	10分	
中級編	9	マップ編	1. マップで出来ること 2. マップを使えるように設定してみよう 3. マップを使ってみよう	10分	
中級編	10	アカウント取得 アプリインストール編	1. アカウントの取得 2. アプリ追加の仕方	15分	
上級編	11	アプリ活用編	1. アプリの活用で生活をもっと豊かに 2. 位置情報共有アプリ 3. お薬に関するアプリ 4. スケジュール管理ができるアプリ 5. その他（元気に暮らし続けるためのアプリ）	10分	
上級編	12	セキュリティ編	1. セキュリティ対策とは 2. やっておきたいセキュリティ対策例 3. 迷惑メール対策 4. 高額請求対策	20分	

既にスマートフォンをお使いの方は使用している端末を教えてください
 （ Android or iPhone or 初心者向けスマホ ）

スマホ教室 参加者アンケート

スマホ教室のご参加ありがとうございました。

アンケートにご協力をお願いいたします。該当する箇所を○囲いしてください。

(1) 体験の内容はご満足いただけましたか (一つ選択)

①満足	②やや満足	③やや不満	④不満
-----	-------	-------	-----

(2) 体験の時間は充分でしたか (一つ選択)

①長い	②丁度良い	③短い
-----	-------	-----

(3) 教室に参加した目的を教えてください (一つ選択)

①スマホを使ったことがなかったので体験したかった
②スマホを使っているが、基本操作がわからなかったのを知りたかった
③スマホを使っているが、スマホで出来ることを増やしたかった
■体験したかった、知りたかった機能を教えてください (複数選択可)
①カメラ ②メール ③インターネット ④LINE (ライン) ⑤Zoom (ズーム)
⑥その他 []

(4) (3) の目的は達成できましたか (一つ選択)

①できた	②ややできた	③ややできなかった	④できなかった
------	--------	-----------	---------

(5) (4) でそう思った理由を教えてください

(6) 今後もスマホを使いたいですか (一つ選択)

①使いたい	②やや使いたい	③あまり使いたくない	④使いたくない
-------	---------	------------	---------

(7) 今後もスマホ教室に参加したいですか (一つ選択)

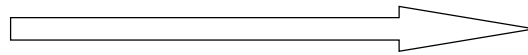
①参加したい	②やや参加したい	③あまり参加したくない	④参加したくない
--------	----------	-------------	----------

(8) 今回のスマホ教室は他の人にも参加を薦めたい内容でしたか

※該当する数字に○を付けてください

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

まったく思わない



非常にそう思う

そう思った理由を教えてください

(9) スマホ教室の感想をご自由にご記入ください

--

ご協力ありがとうございました。

※講師記入欄

実施日	20 年 月 日
事業所名	
使用テキスト	